

## 第5回理事会議事録

日 時 【協議期間】 令和3年1月5日(火)～16日(土)  
【採決期間】 令和3年1月18日(月)～21日(木)  
【議決日】 令和3年1月22日(金)

## ※ 今回の理事会について

COVID-19感染拡大のため、令和2年度第5回理事会は参集しての会議は中止とする。  
議事承認は予め電子的方法(電子メール)で配布した議案等についてメール審議を行い、  
令和3年1月22日に議決する。

## 承認理事 19名

(電子出席) 理事 巴 昭彦、高橋宏幸、伊東賢二、中村伸治、藤田純二、大野貴史、大川剛史、  
三好裕司、佐々木俊一、山中こず恵、足達麻衣、柳本禎久、板山和幸、  
岡林史朗、楠永倫也、菊地真司、中田暢将、萩野孝弥、秋田和宏。  
監事 清水雅明、楠瀬正哲

## 議 題 決議事項

第1号議案『入退会の承認』について  
第2号議案『高知県学術大会プログラムの承認』について  
第3号議案『その他の議案』について

## 1. 報告事項

決議事項に先立ち会長および副会長より以下の報告が行われた。

## 〈会 長〉

- (1) 医師の働き方改革、タスク・シフト/シユア推進に伴う既有資格者の告示研修について  
JART第7回理事会で協議された議案について資料を供覧する。  
新たに業務拡大される行為として、造影剤投与のための静脈路の確保(静脈穿刺)が最も重要と思われるので以下の内容を十分に吟味して今後の検討をお願いする。

医師の働き方改革検討会報告書によると、2024年4月から勤務医の時間外労働時間は原則960時間以下となる。それを受けてタスク・シフト/シユアを推進する検討会において、医療職6分野、286業務・行為について、①現行制度下で実施可能な業務、②現行制度では明確に示されていない業務、③現行制度上実施できない業務について検討された。

上記3グループの内、③については養成課程に必要な教育内容(放射線技師は合計102単位)を追加すると共に、既に資格を取得済みの者については、法令により厚生労働大臣が指定する研修を受講することを業務実施の要件とすることとなり、研修の受講が義務化される。

2020年10月に日本診療放射線技師会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床工学技士会の3団体において、法令改正の施行が2021年6月に見込まれるため、有資格者研修カリキュラムの具体的な実施方法、実施計画、システム構築などについて、3団体で情報共有と共同歩調をとるために協議が実施された。この協議において、講義についてはオンライン講義(オンデマンド型)、シミュレーションについては少人数での対面実習とすることを基本とし、オンライン講義(オンデマンド型)では時間数の担保と確認試験を実施することを条件に、厚生労働省の了承を得られることになった。

日本診療放射線技師会としては、2021年6月に予定されている法令改正に対応できるように準備する。なお、今回の有資格者に対する研修は義務研修になることが予想されるため、診療放射線技師免許取得者約55,000名に対する研修ができるように、十分な研修システムの構築を行っていく必要がある。

表1 タスク・シフト/シェアを推進するためには法令改正が必要な業務

	実施可能とする行為	対象法令
1	CT、MRI 造影検査やRI 検査のために、静脈路を確保する行為、RI 検査医薬品の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為	法律 省令
2	RI 検査のために、RI 検査医薬品を注入するための装置を接続し、当該装置を操作する行為	法律 省令
3	動脈路に造影剤注入装置を接続する行為（動脈路確保のためのものを除く）、動脈に造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為	省令
4	下部消化管検査（CT コロノグラフィ検査を含む）のため、注入した造影剤及び空気を吸引する行為	省令
5	上部消化管検査のために挿入した鼻腔カテーテルから造影剤を注入する行為、当該造影剤の投与が終了した後に鼻腔カテーテルを抜去する行為	省令
6	医師又は歯科医師が診察した患者について、その医師又は歯科医師の指示を受け、病院又は診療所以外の場所に出張して行う超音波検査	法律

表2 有資格者研修カリキュラムの項目と時間数

	研修カリキュラムの項目	時間数 (分)
1	CT、MRI 造影検査やRI 検査のための静脈路の確保に必要な知識・技能・態度	200
2	RI 検査のために、RI 検査医薬品を注入（注入のための装置を接続及び操作する行為も含む）するために必要な知識・技能・態度	100
3	動脈路からの造影剤注入のための造影剤注入装置の接続・操作に必要な知識・技能・態度	200
4	下部消化管検査のため、肛門へ挿入されたカテーテルから注入した造影剤及び空気の吸引に関する業務に必要な知識・技能・態度	100
5	上部消化管検査のため、鼻腔へ挿入したカテーテルからの造影剤注入、鼻腔カテーテル抜去に関する業務に必要な知識・技能・態度	100

日本診療放射線技師会では、下記の通り告示研修を実施する。

- 1) 2021 年6 月よりJARTIS において告示研修の受付を開始する。
- 2) 2021 年6 月よりオンライン講義をe-learning にて実施する。オンライン講義は全国統一の内容とし、視聴時間数を確保（必要時間数）したうえで、確認試験に合格した場合に講義を修了したとする。
- 3) 2021 年8 月より講義修了者を対象にシミュレーション（実技）を実施する。実技の実施にあたっては、各都道府県技師会へ業務委託を予定する。
- 4) 2021 年度のみ、業務拡大に伴う統一講習会（2015 研修）を受講済みの者に対してのみ実施する。この理由は、告示研修を円滑かつ各地域にて実施するためには、告示研修の講師を数多く養成する必要がある。講師には業務拡大に関する高度な知識と技能が必要であり、さらに質の担保も必要となる。そのため、これまでの業務拡大に関連した知識と技能を兼ね備えている現行業務拡大に伴う統一講習会（2015 研修）受講者から養成を始め、講師の質を均一化したうえで、2022 年度以降から広く告示研修を実施していく予定である。
- 5) 告示研修の受講が修了した者には、厚生労働省医政局長とJART会長との連名の修了証を発行する。
- 6) 各都道府県技師会において実施するシミュレーション（実技）の講師は告示研修の修了者（修了証受領済み）とする。
- 7) 受講料については、会員10,000 円、非会員20,000 円。なお、日本臨床衛生検査技師会も会員10,000 円、非会員20,000 円の予定である。

上記の内容についてJARTより年初早々に会員に向けて告示があると思われるが、高知県下の会員(既有資格者)に分かりやすく理解を得られやすい説明方法について検討を行いたい。

- (2) 令和2年度地域委員会(全国地域連絡協議会)の開催について  
標記会議は、全国会長会議として令和3年1月30日(土)にWeb(Zoom)会議として開催される。  
内容の詳細については、開催後に本会第6回理事会にて報告する。

〈高橋副会長〉

- (1) 安部病院の漏洩線量測定にて装置の故障対応について  
10月28日(土)西部地区会員が安部病院の漏洩線量測定にて装置の故障が発覚、病院との対応をおこなった。
- (2) 令和2年度技師長会について  
学術大会の1セッションとして技師長会を中央西地区との合同開催でおこなう。内容は「人事考課」、講師を岡本真知子先生に依頼している。

〈伊東副会長〉

- (1) 特になし。

各担当理事より以下の報告がされた。

〈学 術〉

- (1) 特になし。(中村理事)
- (2) 高知県学術大会について(藤田理事)  
令和3年3月14日(日)高知県学術大会を開催する(会場調整の為2月7日より変更)  
演題締め切りは1月12日(火)。
- (3) TOSA 技塾について(大川理事)  
昨年、TOSA 技塾を立ち上げたいと報告したが、コロナの影響でなかなか難しい状況であるため、来年度の四国超音波研究会・オートプシーイメージングA i 講習会開催について引き続き高知県診療放射線技師会の後援をお願いしたい。
- (4) トモシンセシス研究会について(大川理事)  
講師としてNTRT 安藤英次氏への依頼を、島津製作所を通じてお願いしている。開催日程は未定であるが、あんしんセンター3階会議室の利用をお願いしたい。

〈地区・企画〉

- (1) 特になし。(三好理事)
- (2) 特になし。(佐々木理事)
- (3) 第37回日本診療放射線技師学術大会(JCRT2021)のシンポジウムについて(山中理事)  
令和4年11月12日(金)~14日(日)東京都にてハイブリッド参加型で開催予定の標記学術大会のシンポジウムのテーマとして、業務改善推進委員会より業務改善推進と人材育成に関する企画案提出の指示が全国各地域に出された。何か良い企画があれば提案をお願いしたい。
- (4) 特になし。(柳本理事)

〈編集・広報〉

- (1) 特になし。(大野理事)

〈事務局〉

- (1) 会費等管理状況 令和2年12月31日 現在

①令和2年度会費	173名	1,038,000円
②令和元年度会費	7名	42,000円
③平成30年度会費	1名	6,000円
④賛助会費	5社	210,000円
☆会費収入合計		<u>1,296,000円</u>

⑤広告費	9件	90,000円
⑥日放事業受託費	1件	83,300円
⑦漏洩線量測定料	9件	189,000円
⑧講習会受講費	0件	0円
☆事業費収入合計		<u>362,300円</u>

会費事業費合計 1,658,300円

(2) 会員報告 令和2年12月31日 現在

①会員総数	202名	
②新入会	2名	唐津 公一 (カラツ コウイチ) : 近森病院 西田 和宏 (ニシダ カズヒロ) : 近森病院
③転入会	1名	見田 秀次 (ケンダ シュウジ) : 高知大学医学部附属病院 山本 隆信 (ヤマモト タカノブ) : 田野病院 足立 知史 (アダチ トモフミ) : 白菊園病院
④再入会	1名	西川 智彦 (ニシガワ トモヒコ) : 愛宕病院
⑤転出	0名	
⑥退会	5名	大野浩之、大平加宜、野村幹行、田内 勝、都築聡幸
⑦令和元年度未納者		松井賢哉、山崎教弘、岡田幸一、横山雄一 (4名)

(3) 総務・会計

1) 会計報告(高橋副会長)

会計王は2020年11月分まで入力済。収支月報は2020年12月分まで作成した。

2) 総務報告(足達理事)

特になし。

2. 決議事項

(1) 第1号議案『入退会の承認』について

以下の転入会について審議の結果、理事の全員一致で承認された。

転入会 1名 54148 足立 知史 (アダチ トモフミ) : 岐阜県 → 白菊園病院

(2) 第2号議案『高知県学術大会プログラムの承認』について

審議の結果、下記の開催内容について理事の全員一致で承認された。

日時 令和3年3月14日(日) 9:00~16:00  
会場 高知市総合あんしんセンター 3階 中会議室  
内容 演題発表、技師長会セッション、高知県MRI研究会セッション、新修士課程説明会  
参加費 無料(折詰弁当配布予定)  
役員配置 総合受付: ○三好裕司、菊地真司、大野貴史(広報)、中田暢将(広報)  
総合司会: ○山中こず恵、佐々木俊一、萩野孝弥、岡林史朗  
設営本部: ○藤田純二、中村伸治、楠永倫也、秋田和宏  
発表データ確認: ○大川剛史、板山和幸  
その他(会計等): ○足達麻衣、柳本禎久

□プログラム

- 8:30 役員集合
- 9:00～ 9:20 受付 (一般・座長・演者)
- 9:25～ 9:30 開会の挨拶 会長 巴 昭彦
- 9:30～10:20 一般演題 60分 座長 大川 剛史
1. COVID-19 陽性患者に対する低線量CT撮影の試み  
高知県・高知市病院企業団立高知医療センター 池 央
  2. FPD、CR システム感度の管理について  
高知大学医学部付属病院 放射線部 一円 善史
  3. 嚥下造影検査におけるポケット線量計を用いた摂取介助者の被ばく線量  
社会医療法人近森会 近森リハビリテーション病院 高橋 宏幸
  4. 皆さん、肝臓大丈夫ですか！？肝硬度測定 SWE  
四万十町国保大正診療所 大川 剛史
- 10:30～12:00 MRI 技術研究会セッション 90分 総合司会 所谷亮太郎  
テーマ「MRI の安全管理について」
1. アンケート調査報告「夜間 MRI 検査の実施について」 川崎 幸治
  2. シンポジウム  
高知医療センターが取り組む安全管理 岡 雅輝  
国立高知病院が取り組む安全管理 吉田 政弘  
近森病院が取り組む安全管理 西田 和弘
  3. パネルディスカッション 座長 前田 知則  
八百川 心
- 12:00～13:00 休憩
- 13:00～14:00 技師長会セッション 60分 司会 高橋 宏幸
1. 特別講演 40分
  2. ディスカッション 20分
- 14:00～14:30 新修士課程説明会 30分 司会 伊東賢二  
修士課程「ヘルスケアイノベーションコース」について
- 14:30～14:40 閉会の挨拶 副会長 高橋宏幸

(3) 第3号議案『その他の議案』について

1) 次年度執行部体制について

令和3年6月の役員改選について新たな人材を募集する。主要な施設および現理事の勤務施設からも理事就任を要請し、以下の理事推薦を頂いた。引き続き理事推薦をお願いする。

○次年度理事推薦について

J A高知病院より 宮城 秀平  
高知赤十字病院より 小笠原光孝

本理事会は、新型コロナウイルス感染拡大のため会議集会は行わず、最終議事録について電子的方法で理事全員に承認を求めた。

本会議のすべての議案について、令和3年1月22日を以て理事全員の承認を得たので、令和2年度第5回理事会の決議は得たものとする。

この議事録が正確であることを証するため、代表理事及び監事は記名押印する。

令和3年 1月 25日

会 長 巴 昭彦 ⑩

副 会 長 高橋 宏幸 ⑩

副 会 長 伊東 賢二 ⑩

監 事 清水 雅明 ⑩

監 事 楠瀬 正哲 ⑩